

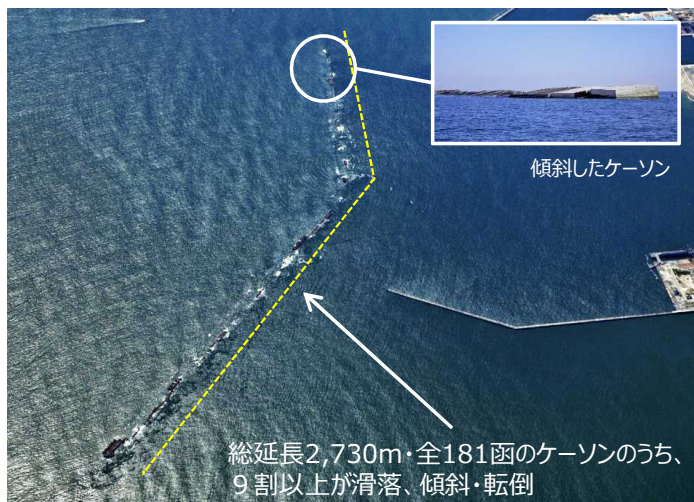
相馬港

- 平成27年1月に岸壁の復旧を完了。
- 平成28年3月に沖防波堤のケーソン据付を完了。

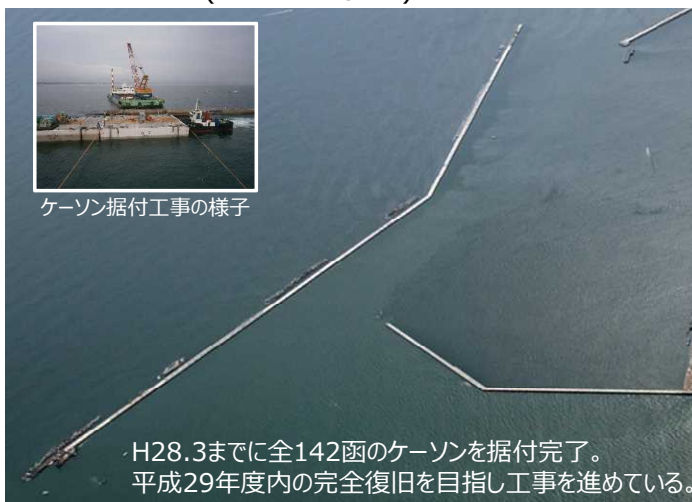
項目	進捗率	復旧・復興の状況/被害の状況
沖防波堤	100%	据付完了 2,730m/全延長2,730m ※H29.3末現在

被災と復旧状況

被災後の相馬港・沖防波堤



現在の沖防波堤(H28年3月撮影)



工期短縮の工夫

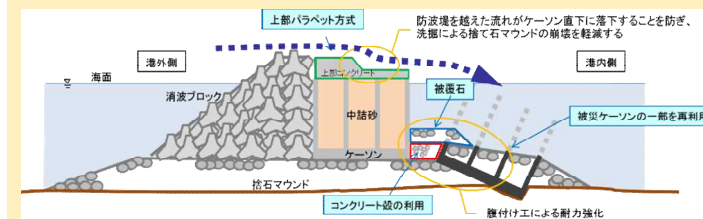


短期間で多数のケーソンを製作するため、相馬港内の陸上及び海上(フローティングドック)、小名浜港の海上にて同時製作を行いました。



滑動するなど被災したものの健全だったケーソンは、再浮上させて活用しました。

“粘り強い構造”の採用



防波堤が津波に対し粘り強い構造となるよう復旧断面を見直し、越流によるマウンドの洗掘を軽減する上部構造、被災構造物等を利用した腹付工を採用しました。